

調達要求番号：

陸 上 自 衛 隊 仕 様 書		
物品番号	4 2 2 0 - 2 8 2 - 4 2 0 2 - 5	仕 様 書 番 号
救命胴衣	G E - L 4 2 2 0 0 1 J	
	防衛大臣承認	年 月 日
	作 成	平成 1 2 年 1 1 月 2 8 日
	変 更	令和 元年 1 2 月 1 9 日
	作成部隊等名	補給統制本部 施設部

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、陸上自衛隊において水上、渡河及び水難救助作業に用いる固型式の救命胴衣（以下、“胴衣”という。）について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる用語及び定義は、次によるほか、G L T - C G - Z 0 0 0 0 0 1による。

1.3 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部を成すものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

a) 規格

J I S K 6 7 6 7 発泡プラスチック—ポリエチレン—試験方法

J I S Z 9 1 1 7 再帰性反射材

b) 仕様書

G L T - C G - Z 0 0 0 0 0 1 陸上自衛隊装備品等一般共通仕様書

G Q - L 0 0 0 1 8 5 戦闘服，一般用

c) 法令等

小型船舶安全規則（昭和49年運輸省令第36号）

船舶等型式承認規則（昭和48年運輸省令第50号）

2 製品に関する要求

2.1 一般的要求事項

この胴衣は、“小型船舶安全規則”（以下、“安全規則”という。）に適合し、“船舶等型式承認規則”（以下、“承認規則”という。）に定める型式承認を受けた製品とする。

2.2 構造・機能

構造及び機能は、次によるほか、細部は、承認図面による。

- 胴衣の装脱着が容易にできる構造とする。
- 安全規則に定める再帰性反射材を取り付ける。
- 離水時に、胴衣内部の水を排出するための水抜きを胴衣内側に付ける。
- 胴衣内部の浮力材が出し入れできる構造とする。

2.3 材料・部品

材料及び部品は、表1による。日本産業規格品又は同等以上のものとし、かつ、製造者が規定する社

内規格に合格した製品とし，細部は，承認図面による。

表1－材料・部品

項目	規定	用途
生地	GQ-L000185の2.1による。	身ごろ，ポケット，反射布用台布
収納袋	ナイロン 100 % 平織り縦・横とも70 d	浮力材収納袋
ポリエステルテープ	平織厚さ1.5 mm±0.3 mm ×幅25 mm±1 mmとする。	胴ベルト，わき調整ベルト
	すぎ綾厚さ0.7 mm±0.3 mm ×幅25 mm±1 mmとする。	
バックル	ポリアセタール樹脂製，25 mm幅テープ用 (両側に調整機能があるもの)とし，色は黒	胴ベルト
独立単気泡発泡ポリエチレンフォーム	表2による。	浮力材
ひも	ポリエステル丸ひも芯なし，直径約2 mm	警笛用ひも，警笛取付用ひも
反射布	表2による。	再帰反射材
ボタン	ポリエステルボタン 太来型 直径約15 mm グリーン	ポケット，反射布用台布固定
縫糸	色はOD色とし，型式承認に十分耐え得る強度を要するものとする。	ミシン縫製用
グロメット	黄銅製，シルバーめっき加工 #0	水抜用
調整環	ポリアセタール樹脂製，25 mm幅テープ用とし，色は黒	無線機固定用，わき調整ベルト
面ファスナ	ナイロン，20 mm幅，色は黒	浮力材出入用開口部

表2－浮力材及び反射布

区分	規定	試験方法	
発泡浮力体	材質	社内試験成績書による。	
	気泡構造		独立気泡
	厚さ		約3 mm
	発泡倍率		30倍以上
	見掛け密度	0.02 g/cm ³ ~ 0.04 g/cm ³	JIS K 6767による。
	圧縮永久ひずみ	10 %以下	
	吸水率	0.15 mg/cm ² 以下	
加工	発泡均質で，雑物の混入がなく，単一加工によるもので，両面にスキン加工を施す。	—	

表2—浮力材及び反射布（続き）

区分		規定	試験方法
反射布	構造	再帰性反射材の構造は、カプセルレンズ型又はプリズム型とし、基布にポリエステル布を使用したもので、縫製品として適当な柔軟性をもたせる。	社内試験成績書による。
	色	J I S Z 9 1 1 7の白を標準とする。	J I S Z 9 1 1 7による。
	反射性能	観測角0. 2度で入射角が5度するとき175以上、30度するとき135以上、45度するとき85以上	
	その他	国土交通省の型式承認品とする。	—

2.4 裁断

裁断は、**図1**～**図3**を標準とし、各部の接合部以外のはぎ及びバイアスに裁ってはならないほか、細部は、承認図面による。

2.5 縫製要領

縫製要領は、**表3**、**図2**及び**図3**を標準とするほか、次による。

- 縫い合わせは、すべてミシン縫いとし、縫い始め、縫い終わりは、返し縫いを完全にする。
- 針数は、2. 5 cm間の表面に現れた縫い目数とし、10針を標準とする。
- 縫い飛び及び縫い外れがなく、糸調子が優良で縫い目曲がりが目立ってはならない。

表3—縫製細部要領

項目	細部要領
縁	胴衣の周縁は、縁取りテープ縫いをする。
浮力材充填部	浮力材充填部の仕切りは、飾りミシン縫いと関係なく表面からミシン縫いをする。
胴ベルト環	別裁断とし、地縫い返して身ごろの下部にはさみ縫いする。
胴ベルト（下）	胴ベルト環に通して中央部を胴ベルト環にミシン二列縫い止めを行い、両端は三巻縫いをする。
胴ベルト（上）	そでぐりからベルト環を越えて身ごろに地縫いを行い、両端は、三巻縫いをする。
胴ベルト（中心）	背中身ごろ中央部にミシン一列縫い止めを行い、両端は、三巻縫いをする。
ボタン穴かがり	反射布用台布及びポケット雨ぶたに、使用するボタンの直径と厚みに合う大きさで、眠り穴かがり縫いを行う。

2.6 形状・寸法

形状及び寸法は、**図2**～**図4**を標準とし、細部は、承認図面による。

2.7 外観

外観は、仕上がりが良好で、きず、破れ、汚れその他使用上の欠陥があってはならない。

2.8 性能

性能は、安全規則によるほか、**表4**による。

表4－性能

項目	規定
浮力	胴衣に15 kgの鉄片をつり下げ、淡水に浮かべ24時間以上浮き続ける性能とする。

2.9 製品の表示

製品の表示は、本体にGLT-CG-Z000001の2.3に基づき1種銘板及び物品管理区分標識及び承認規則に定める表示をする。また、浮力材収納袋の全部に型式承認番号及び取付け位置を表示し、細部は、承認図面による。

3 品質保証

監督及び検査は、契約担当官等が定める監督・検査実施要領によるほか、表5による。ただし、型式承認などに関わる範囲の検査は、型式承認書及び検定合格証明書によって省略する。

表5－監督・検査

検査項目	試験方法及び判定基準
生地	GQ-L000185の表8及び表10による。
浮力	社内試験成績書による。

4 出荷条件

出荷条件は、調達要領指定書によって指定する場合を除き、商慣習による。

5 その他の指示

5.1 附属品

附属品は、表6による。

表6－附属品

品名	数量	規定
警笛	1	a) 水にぬれても鳴るもので、ひも付きとする。 b) ひもの長さは60 cmを標準とする。 c) 警笛及びひもの色は、OD色とする。

5.2 承認用図面等

契約の相手方は、GLT-CG-Z000001の箇条6に基づき2.2、2.3、2.4、2.6、2.9、その他必要な事項について、承認用図面並びに生地、ポリエステルテープ、浮力材、反射布、縫糸、バックル及び警笛の承認用見本各3部（ほかに、承認願書だけ1部）を契約担当官等に提出し、承認を受ける。

5.3 納入書類

5.3.1 添付書類

契約の相手方は、調達要領指定書によって指定する場合を除き、胴衣1着ごとに表7の書類を添付する。

表7－添付書類

添付書類	数量	注記
取扱説明書	1	GLT-CG-Z000001の箇条7.1による。 日本語版とする。

5.3.2 提出書類

契約の相手方は、調達要領指定書によって指定する場合を除き、製品納入時、陸上自衛隊関東補給処古河支処に表8の書類を提出する。

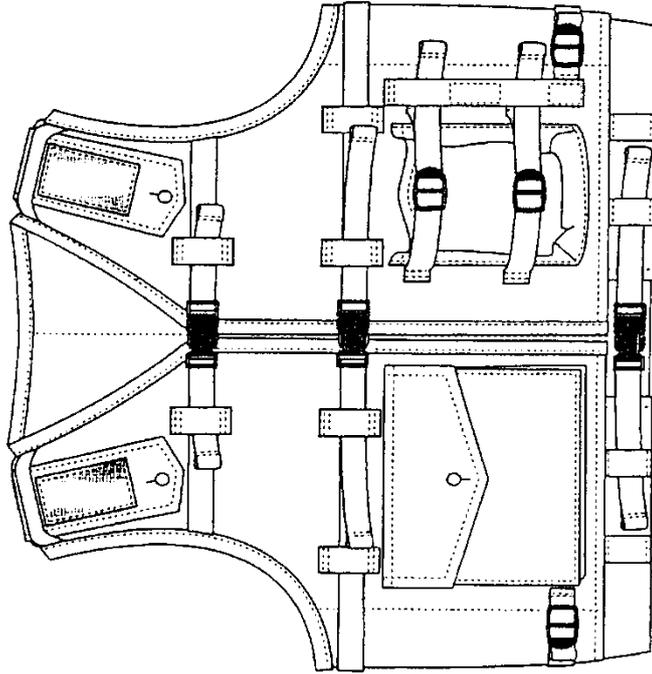
表8－提出書類

番号	提出書類	数量	注記
1	取扱説明書	a)	GLT-CG-Z000001の箇条7による。 日本語版とし、合冊してもよい。
2	整備資料	a)	
3	部品表	a)	
4	完成品写真	1式 ^{b)}	三方（前、後、見開き）写し
5	社内試験成績書	1	—
6	型式承認書（写）	1 ^{b)}	—
7	検定合格証明書（写）	1	—
<p>注^{a)} 数量は、調達要領指定書によって指定する。</p> <p>^{b)} 過去に納入実績があり、前回納入時と変更のない場合は、省略してもよい。</p>			

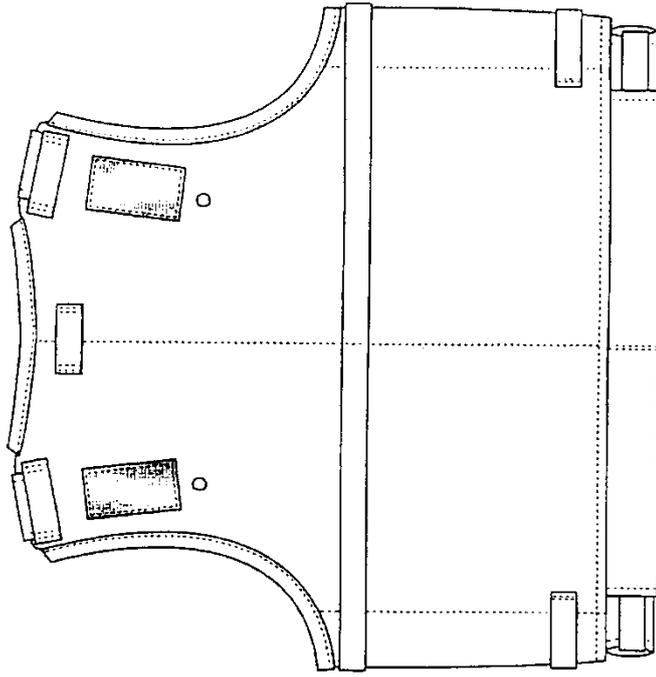
5.4 その他

この仕様書に関する疑義は、GLT-CG-Z000001の8.3による。

前面



後面

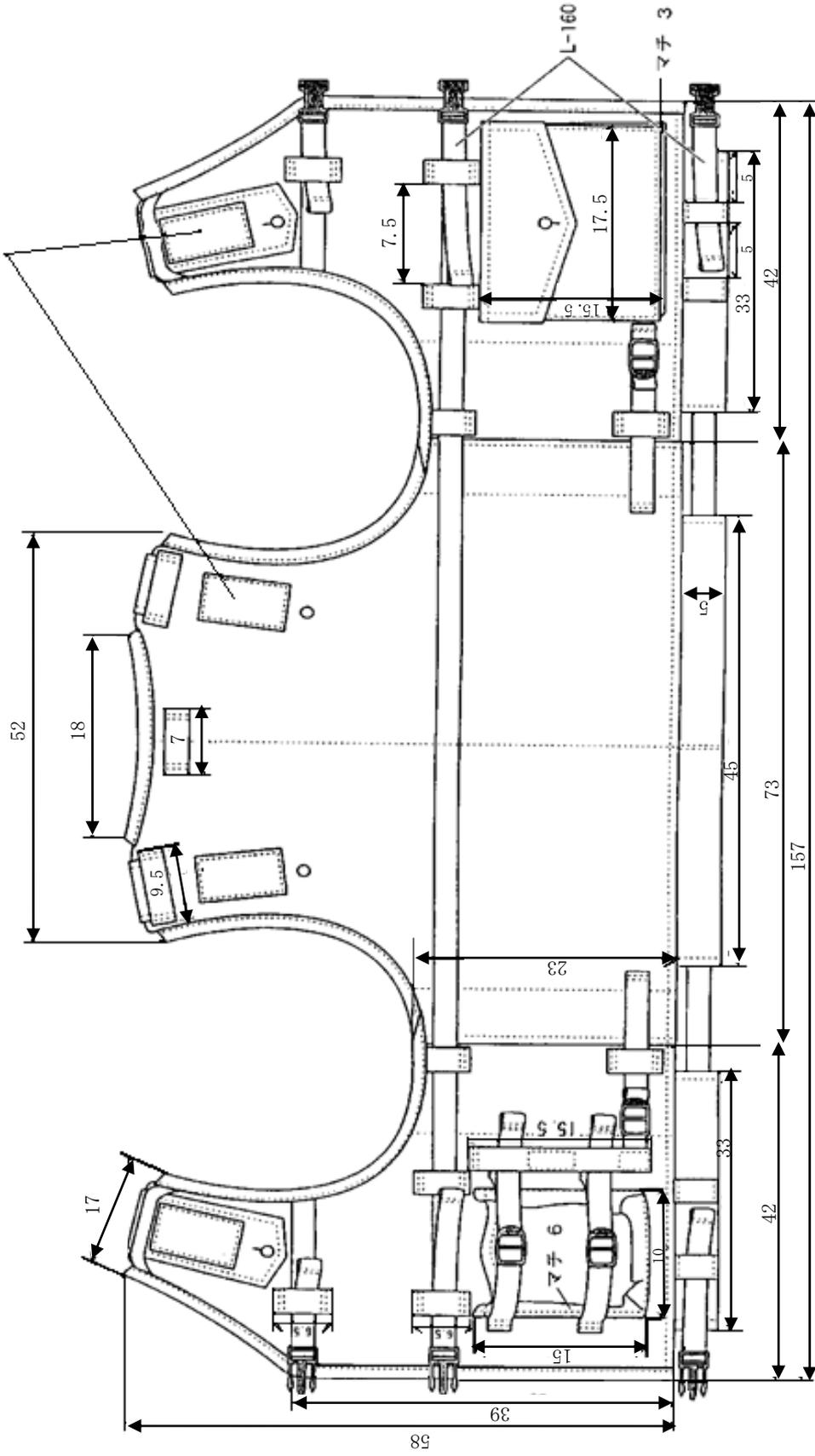


注記 図の構造及び形状は、標準を示す。

図1—救命胴衣

単位 c m

反射標識片 10×5

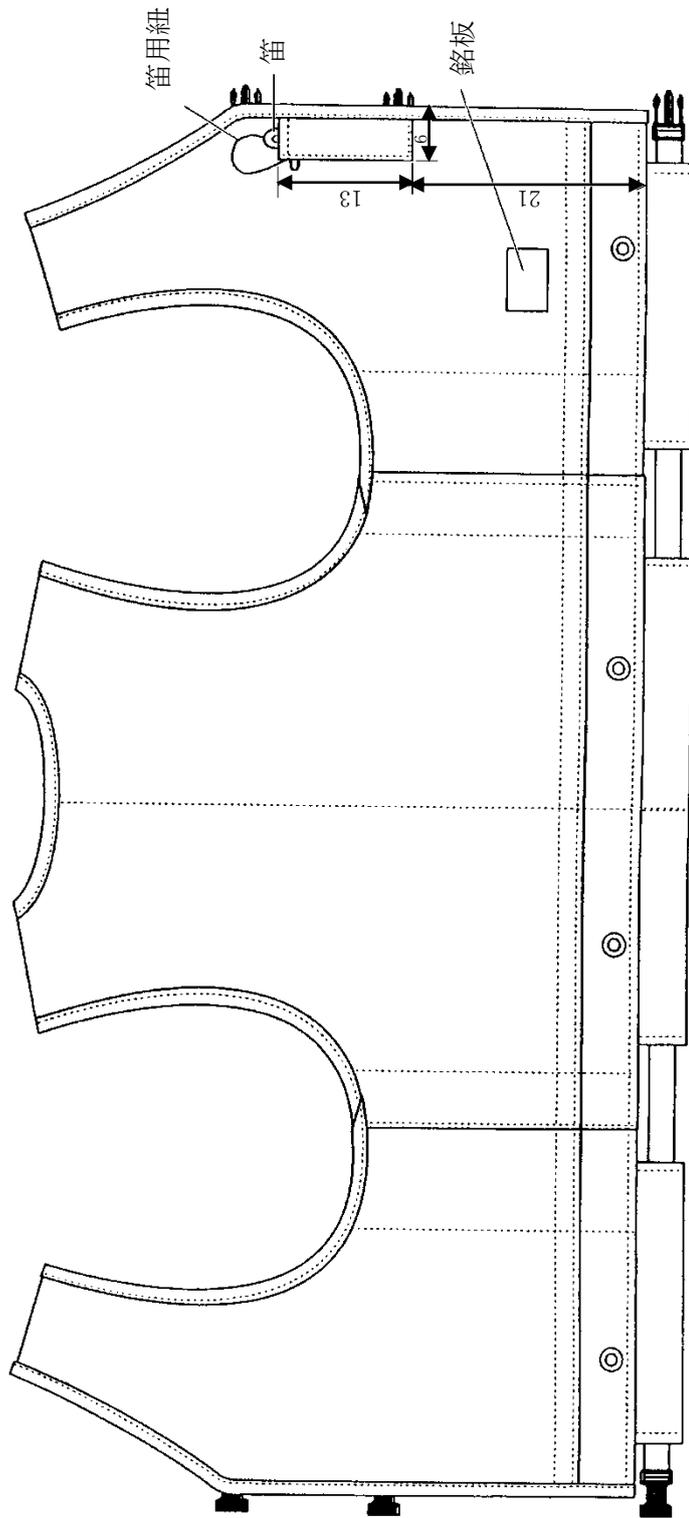


注記 図の構造及び形状は、標準を示す。

寸法許容差 ±5 %以内

図2-形状・寸法(身ごろ・表)

単位 c.m

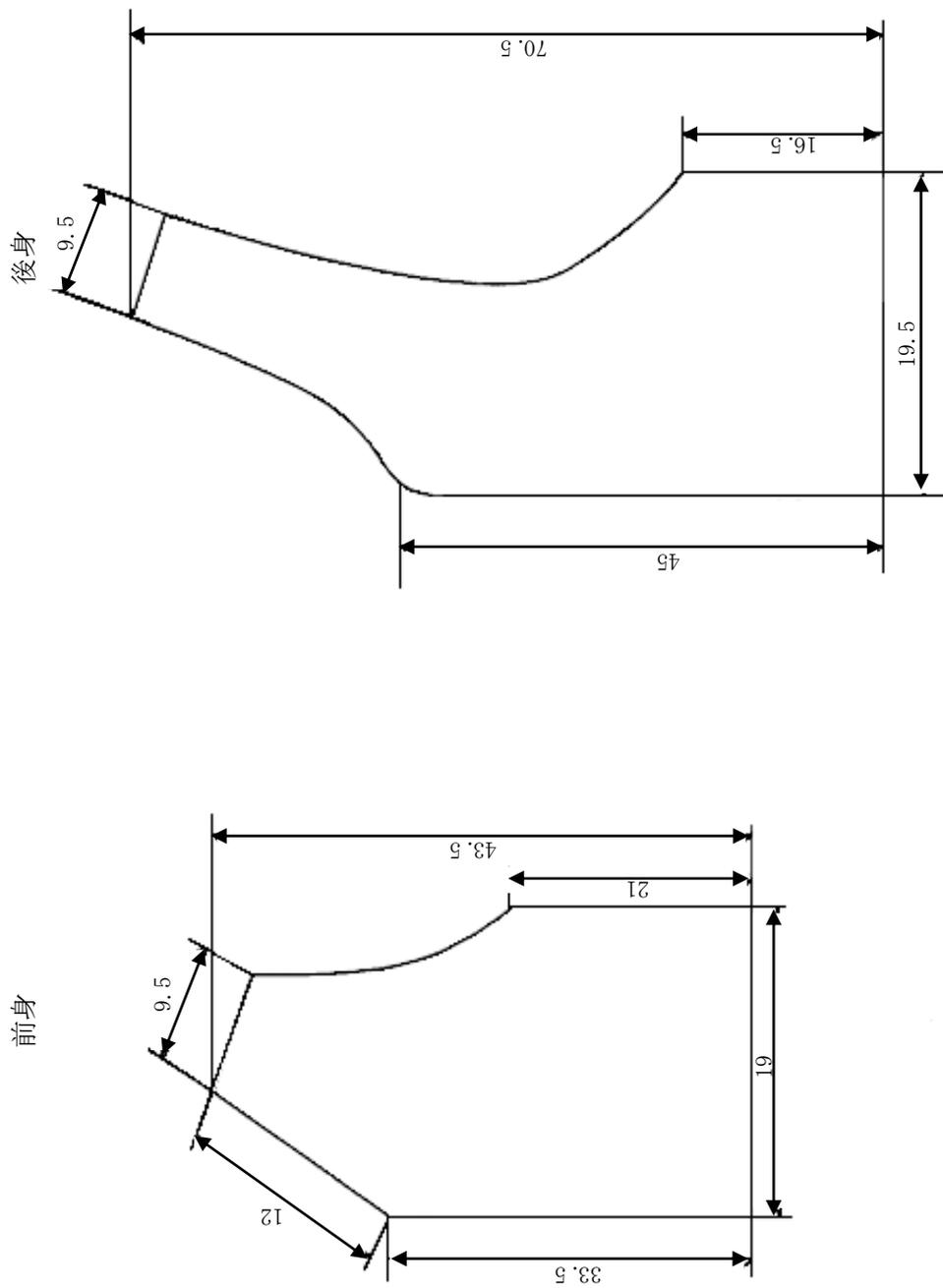


注記 図の構造及び形状は、標準を示す。

寸法許容差 $\pm 5\%$ 以内

図3—形状・寸法（身ごろ・裏）

単位 cm



注記 図の構造及び形状は、標準を示す。

寸法許容差 $\pm 5\%$ 以内

図4—形状・寸法（浮力材）